

# 情熱の チャイコフスキー

©松尾淳一郎

©山本倫子

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲\*  
チャイコフスキー:交響曲 第4番

小林研一郎  
(指揮)

KEN-ICHIRO KOBAYASHI,  
CONDUCTOR

周防亮介\*  
(ヴァイオリン)

RYOSUKE SUHO, VIOLIN

東京都交響楽団  
(管弦楽)

TOKYO METROPOLITAN  
SYMPHONY ORCHESTRA



サントリーホール | 2023 **1.8** [日] | **14:00** 開演  
(大ホール) (13:15開場)

S席:6,000円/A席:4,500円/B席:3,000円/P席:2,000円

全席指定・税込/未就学児入場不可/P席はステージ後方の座席です

ユースチケット(小学生~18才):各席種50%引き(P席を除く)

年齢は公演日時点/来場時に年齢の証明ができるものをご携帯ください/ソニー音楽財団オンラインチケットのみでの取り扱いとなります

## プレイガイド

■ソニー音楽財団オンラインチケット  
www.smf.or.jp



- チケットぴあ t.pia.jp
- イープラス eplus.jp
- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (休館日を除く10-18時)
- 都響ガイド 0570-056-057 (平日10-18時)

先行発売:11月9日(水)~11月15日(火) ソニー音楽財団(会員のみ)・チケットぴあ・イープラス/一般発売:11月16日(水)

●やむを得ない理由により、曲目・演奏者など公演内容が変更となる場合がございます。

コンサートの収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。

主催・お問い合わせ:公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation) 03-3515-5261(平日10-18時) www.smf.or.jp

共催:公益財団法人東京都交響楽団 後援:日本赤十字社

## 見どころ・聴きどころ

収益の一部が日本赤十字社に寄付される本公演は、社会貢献も果たしながら王道名曲の名演奏を堪能できる得がたい機会。今回はまず、「炎のマエストロ」コバケンこと小林研一郎の円熟のタクトが大きな見どころとなる。指揮界の重鎮コバケンは、**熱く劇的な音楽で聴く者に感動を与える唯一無二の存在**。しかも今回振るチャイコフスキーは無数に演奏してきた十八番中の十八番で、ヴァイオリン協奏曲と交響曲第4番は同作曲家の中でも情熱と迫力に充ちた名作だ。ここは、高い機能性と立体的なサウンドを誇る都響の特性も相まって、**オーケストラの醍醐味満載の名演が展開される**に違いない。

**ヴァイオリンの周防亮介への注目度も高い**。数々のコンクールで実績を残し、内外の著名楽団と共演を重ねている彼は、**極上の美音で繊細かつドラマティックな音楽を奏でる名手**。さらに今回は「**チャイコフスキー・コンクールで1位になるレベル!**」と絶賛するコバケンの強い押しでそのチャイコフスキーの協奏曲を弾く。となればこちらも見逃せるはずがない。  
(音楽評論家・柴田克彦)



©山本倫子

## 小林研一郎〈指揮〉

KEN-ICHIRO KOBAYASHI, CONDUCTOR

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタベスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション 評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ: <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>

## 周防亮介〈ヴァイオリン〉

RYOSUKE SUHO, VIOLIN

2016年ヴェニエチアスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞及び審査員特別賞受賞をはじめ、日本音楽コンクールやダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクールなど、国内外の数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。2015年「第25回出光音楽賞」、2016年「第25回青山音楽新人賞」を受賞。

12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団やシュトゥットガルト室内管弦楽団、NHK交響楽団など、数多くの国内外オーケストラと共演。

東京音楽大学アーティスト・ディプロマコースを修了し、現在は江副記念リクルート財団奨学生としてメニューイン国際音楽アカデミーにて研鑽を積む。使用楽器はNPO法人イエローエンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。



©松尾淳一郎

## 東京都交響楽団〈管弦楽〉

TOKYO METROPOLITAN SYMPHONY ORCHESTRA

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。

現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。また、ソロ・コンサートマスターを矢部達哉、四方恭子、コンサートマスターを山本友重が務めている。東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場での定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラガ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う“命の贈り物”です。

本企画は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年よりスタートしました。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞しました。

当公演の収益は、どんな非常時においても、誰でも、いつでも、安全に献血で治療を受けられる環境がより整うことを願い、「献血運搬車の購入・整備等の血液事業への充当」に目的を限定して日本赤十字社に寄付いたします。

このコンサートの主旨をひとりでも多くの方にご理解いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人ソニー音楽財団

2021年度(第65回)までの累計寄付金額:113,405,892円

ご来場の  
皆様へ

- 当公演は政府および東京都から発出されるイベント開催制限を遵守して開催いたします。
- ホール内では可能な限りマスクの着用をお願いいたします。事情により着用できない場合、着席中の会話はご遠慮ください。
  - 検温を実施いたします。平熱より1℃以上高い場合や体調が優れない場合はご来場をお控えください。
  - ご来場前には必ずソニー音楽財団ウェブサイトに掲載の最新情報をご確認ください。

